



社会福祉法人
尚徳福祉会
おぐら保育園

早いもので今年度も残り一か月となりました。子どもたちはたくさん笑ったり、泣いたり、時にはけんかもしながら、心も体も大きくなりました。生活面では「自分のことはできるだけ自分で」と「やろうとするきもち」を大切にしてきたことが少しずつ実を結ぶようになり、子どもたちの大きな、そして確かな成長が感じられる一年でした。「ちゅうりっぷ組さんになれるかな？」と、進級することを心待ちにしています。もも組のお友だちと一緒に生活し、たくさんの成長を共に喜び合えたことをとても嬉しく幸せに思います。一年間あたたかいご理解とご協力いただきありがとうございました。残りわずかな毎日を楽しみながら気をひきしめて子どもたちと接していきたいと思っています。



ひなまつり制作

ひなまつりにむけて「ひな人形制作」を行いました。おひな様の衣装はビー玉に絵の具をつけてコロコロ転がして作ります。担任がやって見せると、興味津々で見つめていた子どもたち。自分の好みの色の付いたビー玉を選び、入れ物の中に敷いてある色紙の上に自由に転がして絵を描きました。横や縦にコロコロ転がし、模様ができるのを楽しみました。おひなさまとお内裏様の顔や髪も描きました。最近は顔を描くのが上手になり、「目」「口」「鼻」と丁寧に書いています。それぞれ表情が違ってとてもかわいい顔ができました。赤い毛氈に金ぴかのシールを貼ったら完成！まっすぐに貼っていくのもとても上手でした。お家で飾ってくださいね。この一年、のり、はさみ、折る、貼る、ちぎる、丸める、描く、といろいろな制作を行ってきました。どの制作も意欲的に集中して取り組むことができ、個性あふれる作品ができました。思い出として綴じた作品を持ち帰りますのでお子様と一緒に成長を感じながら作品鑑賞をしてみてください。

お友だち大好き

コロナでお休みが続き、なかなか登園してこないお友だちを心待ちにしている姿がみられました。「今日●●ちゃん来る？」「●●ちゃんと遊びたいな」などと何度も聞いていました。久しぶりのお友だちが部屋に入ってくると声をあげながら駆け寄り、手を握ったり照れたり笑いあったりとっても嬉しそうでした。お手紙を書いたお友だちもいました。「一緒にあそぼう」「昨日の続きしよう」など、すぐに誘い合って遊び始めました。嬉しい再会もつかの間、あっという間にトラブル発生で誰かが泣いたり、叫んだり怒っていたり、にぎやかさが戻っていませんでした。この一年間を通して友だちという存在が子どもたちの心を大きくしてくれたと思います。幼児クラスでもお友だちに会えるのを楽しみに元気に登園してくれることと思っています。